

◆……今年1～3月期のGDP（国民総生産）は2・4%と2期連続のプラス。消費0・4%、投資0・4と数値はわずかですが、円安、原油安の効果で全体の景気はますますといったところ。1世帯の貯蓄高はなんと1798万円。これを知った居酒屋での飲み友達は、みんな顔を

見合せて「あんたら、そんなに貯め込んでいるの？」と仰天。貯蓄が「趣味」なんて人もいることですから、それは良しとして今のニッポン、天候不順は別としてまあまあ好景気、喜ばしいことで。

◆……外国からの日本に来る旅行者の数は増加の一方。お隣り中国からは約240万人とか。これに次いで韓国、台湾からも、また欧米からも平和、安全のニッポンを訪れるお客さんは軽く1000万人を越すよう。つい数年前には考えられないブームです。過去には農協さんの団体が大半して海外へ出かけ、レストランでは洋食のマナーも心得ず、大声で話し合うなど現地の人たちの響（ひんしゆく）を買っていました。今の若い世代の日本人は礼儀正しく、

金遣いもそう悪くなく、何処の国でも歓迎されているようで。国際化の時代、島国根性から卒業したみたい

◆……面白い話のもう1つは、世界経済フォーラム（WEF）が5月初めに発表した2015年の「旅行・観光競争力指数」では、日本は世界で総合9位、前回13年の調査では14位、これでトップ10入りを果たしたことになります。このランキング上位は①スペイン②フランス③ドイツ④米国⑤英国といった順位で、「顧客の接遇」では、なんと日本が世界1、「おもてなし」の心が高く評価されたわけです。他の項目で「鉄道インフラの質」が1位、「従業員トレーニング」「無形文化財の数」が2位、「大規模スポーツ競技場の数」では4位と上位に入り、順位の押し上げに貢献しています。いつまでも「おもてなし」では1位を確保したいものです。

◆……この時期、若者たちは就職運動に明け暮れますが、今春、卒業した大学生の就職率は4月1日現在で96・7%だったとそう。これは前年同期比で2・3%増と4年連続の高水準、大変喜ばしいことですね。

高校生も好調で、3月末時点での内定率は98・8%、前年同期比0・6%増で、1992年以来の高水準だそう。学校で一生懸命学んだ揚げ句、働く場がないとなれば、青年たちにとってこんな厳しい現実はありませんから。都道府県別では、大学生で新潟、富山、福井出身が99・9%というから立派なものです。何も大都市で学ばなくても、充分将来設計が可能、と教えてくれます。企業側もまじめ、実直な若者に働き手としての無限の可能性を認めているのかも知れませんね。

◆……まるでテレビのくだらない笑劇のような「大阪都構想」住民投票騒ぎ。「主人公」か「踊り手」なのかあの橋下某が敗北を機会に市長の座を降りる、と聞いて、心ある人たちは思わず「バンザイ」を三唱。いやはや、あの男がテレビの画面や新聞紙上に現れると、途端に不愉快な気分になり、その場を逃げ出したものです。任期切れて元の弁護士稼業に、といっていますが、あの性格つまり極度の「出たがり症候群」にかかった人間、またぞろテレビ屋に自分を売り込みに回ることでしょう。

月刊公論 MONTHLY  
KORON

7月号 第48巻7号

平成27年7月1日発行 毎月20日発売  
本体価格848円（税別） 送料94円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦  
発行所 株式会社社界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616  
印刷所 株式会社廣済堂  
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。